

劇団かたつおり



概要

名 称 劇団かたつおり
設立年月 昭和52年3月
代表者 田中三木夫 (たなか みきお)
団員数 二十二人
所在地 荒尾市金山1234-13
主な活動地 荒尾市及び長洲町

(地域文化活動部門)

劇団がたつむりの結成は、昭和五十二年三月、ほとんど演劇の経験のない三人の有志が、地元在住の劇作家で演出家の島本新太郎氏の門を叩いたのを端初とし、同年十一月には第一回公演を実施。島本氏の急逝という試練を乗り越えながら、毎年定期公演を行って来た。

同劇団は、演劇を通して地域文化の創造に関わりたいたとして、ミュージカルや子供劇、新劇など幅広いジャンルに挑戦。とりわけ子供にも理解できる題材・内容の演劇の展開を行うよう心掛けてきた。

また、子供たちの出演の機会を積極的に作り、芝居作りの楽しさを通じて創造力を目覚めさせるとともに、地域の将来を担う人材の育成に努めてきた。

平成九年秋、荒尾市で開催された「熊本県民文化祭あらお」では、「子供たちとミュージカルはやれないか」との地域の方からの要望を受け、一からのミュージカルづくりに取り組み、公演を成功させた。また、その結果は出演した子供たちが、中学校の文化祭で劇の演出を手掛けたり、進学した高校で演劇サークルを作るなどの事例に結実。

同劇団は、地元を軸足をおいて、地域とともに着実に進んで行く活動が期待されている。

これまでの活動歴

昭和五十二年	三月	島本新太郎氏の指導のもと劇団結成
	十月	第一回公演「風の吹く丘」「彦はなし」
昭和五十三年	十月	第二回公演「命なりけり」(島本氏追悼公演)
	十月	第三回公演「夕鶴」
昭和五十四年	十月	第四・五回公演「ユージュカル」「おっかさん」(荒尾市・長洲町)
昭和五十五年	十月	第六・七回公演「奇跡の人」(荒尾市・長洲町)
昭和五十七年	十月	第八・九回公演「ユージュカル」「十二匹のネコ」(荒尾市・長洲町)
昭和五十八年	十月	第十・十一回公演「銀河鉄道の恋人たち」(荒尾市・長洲町)
昭和五十九年	三月	第十二回公演「若いネズミと年とったネコ」
	十月	第十三・十四回公演「フナは木から降りてこい」
昭和六十年	九月	第十五・十六回公演「いやいやながら医者になろう」(荒尾市・長洲町)
	九月	第十七回公演「ユージュカル」「兄ちゃん」
昭和六十一年	六月	第十八・十九回公演「絵姿安房」(荒尾市・長洲町)
	十月	第二十回公演「キネマの天地」
昭和六十三年	五月	第二十一回公演「ユージュカル」「おぼけリンゴ」
	十二月	第二十二回公演「頭痛・肩こり・樋口葉」
平成元年	五月	第二十三回公演「青い鳥」
	十二月	第二十四回公演「樫定で散歩」
平成二年	十月	第二十五・二十六回公演「大どろぼうっホッペン」
	十月	第二十七回公演「エドブリス・プリン」
平成三年	九月	第二十八回公演「天国からの贈り物」
平成四年	五月	第二十九・三十回公演「ユージュカル」「ガソバとまてきな仲間たち」(荒尾市・長洲町)
平成六年	九月	第三十回公演「奇跡の人」
	九月	第三十一回公演「フナは木から降りてこい」
平成八年	十月	第三十二・三十三回公演「ユージュカル」「ガソバの家」
平成十年	十月	第三十五回公演「ユージュカル」「まま」
平成十一年	十月	第三十六回公演「広くてすてきな宇宙じやないか」